



発行所
北東白石まちづくり協議会
地域情報広報委員会
札幌市白石区北郷3条1丁目4-1
北都地区会館
TEL 011-875-3077
FAX 011-875-7969

盛大に終わった「白石区ふるさとまつり」

仮装盆踊りでは北東白石が優勝、準優勝独占

今年も「白石区ふるさとまつり」がやってきた。区民、みんなが待っていた大きなお祭り、第35回白石区ふるさとまつりが7月17日(土)、18日(日)の両日、白石区ふるさと会が主催となり、地域企業、各種協議団体等の協力で開催されました。会場は区役所駐車場広場にステージを組み、会場の周りは多くの出店が並び、会場は来場客で大変な混みようでした。



仮装盆踊りで東川下チーム 優勝、準優勝独占！
17日前夜祭のメインはやはり盆踊り、子ども盆踊り、大人盆踊りに続き、呼び物の仮装盆踊りが始まり、場内は最高潮に達しました。仮装では今回も北東白石地区より大人団体の東川下の2チームが出場。今年も多く個人の仮装参加者がありましたが、なんとと言っても、いま、朝のNHKドラマで人気のゲゲゲの鬼太郎をテーマに「ゲゲゲの鬼太郎とその仲間たち」で、作者の水木しげるや、ゲゲゲの女房、続いて妖怪が並んで登場した。仮装の仕上がりや話題性もあり優勝は皆が認める出来でありました。もう一つは「西遊記」三蔵法師が孫悟空、猪八戒、沙悟浄などを従えて・・・の、あの物語である。こちら仮装の出来は甲乙つけがたし、話題性で二位に甘んじたか。それにしても優勝、準優勝を独占とは、毎年参加している皆さんの努力のたまものである。おめでとうございます。

写真上 優勝チーム
ゲゲゲの鬼太郎と仲間たち



写真下 準優勝
西遊記



さて、二日目の本祭りは白石郷土芸能「札幌本陣太鼓」で始まり、開会式が行われ、宮城県白石市の風間市長や登別市長が35回となる白石区ふるさとまつりにお祝いの言葉がありました。

開会式後の白石音頭は従来に増して今年は、白石音頭を広く知ってもらおうと、事前に小学生にも練習会を開き、当日は大人と子供も参加しての白石音頭であり、会場の中央と通路側にと二重の踊りの輪でありました。楽しいイベントが続き夏の一日が終わりました。

北の郷里(きたのごうり) 名前の由来

郷とは昔、郡内の一区画で数村をあわせたもの。郷里(ごうり)とはその最小単位をあらわしていて、小さな「むらざと」を意味します。郷里(ごうり)は近代においては郷里(きょうり、ふるさと)と呼ばれています。白石区には郷が三つあります。南郷、本郷と北郷です。ここから「郷」を一字いただきました。北は白石区の北東、北海道の北の文字、日本の北を示し、郷里は我が大地、むらざと、ふるさとを示します。
地紋は郷土の米の歴史より稲穂を使用致しました。

【北東白石まちづくり協議会の構成団体】

北東白石まちづくり協議会の構成団体 = 北東白石連合町内会 (6単位町内会) 北東白石地区民生委員・児童委員協議会 北東白石地区社会福祉協議会(北東白石地区福祉のまち推進センター) 北東白石地区青少年育成委員会 北東白石地区体育振興会 北東白石地区交通安全実践会 北東白石地区交通安全母の会 日赤奉仕団北東白石分団 北東白石地区こども会連絡協議会(北都なかよし子ども会、東川下子ども会、川北こども会) 北都明生会 東川下老人クラブ 川北老人クラブ長楽会 川下老人クラブ 北都商店街振興組合

“ さあ 出 動 ” ユニークな北都の防災運動会

6月27日の日曜日、真夏のような炎天下、北都町内会では、8時30分の打ち上げ花火を合図に9時から北都公園で防災運動会が行われました。

この運動会は、今年で38回目を数え、防災意識を取り入れた防災運動会を併せもってから13回目となります。防災組織は町内を4分割しており赤・白・黄・青の4組対抗で行われました。

昨年の優勝青組よりカップ返還後、その組の元気な小学生2名による選手宣誓があり運動会の幕が切っておろされました。

徒競走から始まりましたが、防災競技では、消防職員の出動時の防火衣・ヘルメットを着用し消防ホースを巻取る「さあ出動」、被災者を探す「やっ」とみつけたね」、怪我人をバレーボールになぞらえた「タンカで救助」、救助者1人が被災者2人を連れて逃げる「逃げ道こっち」などを行いました。一般競技では「玉入れ、運動会の華「綱引き」などを行い最後は組別対抗リレーで締めくくり全競技を終了しました。

真夏のような炎天下、携わった役員・参加した選手・応援者一同老いも若きもいっぱい汗をかき運動会を盛り上げ12時15分頃終了しました。

最後、競技委員長の講評の中で競争中転び、怪我人の多かった事にふれ、防止策は、張り切り過ぎない事、普段からそれなりの運動をすれば良いとの注意がありました。幸い怪我は、かすり傷程度の軽傷で救護班の手当で済み安心しました。



活性化委員会 朝市は毎月最終日曜日！

毎月最終日曜日、朝8時より開催されます。

場所は北郷3条通り、旧ラルズ店、現第一交通の前です。当日チラシ（道新）が入りますのでご覧下さい。皆さんぜひご利用下さい。



新鮮な野菜、果物、魚介類がそろっています。お来し下さい。

楽しかった夏のレクリエーション！

7月4日(日)、小学生対象レクリエーション「川下公園でスタンプラリーを楽しもう！」が参加者95名で実施されました。当日の朝はお天気も良く、各地区ごとに集合し川下公園迄ウォーキング。到着後、開会式が行なわれ、スタンプラリーの開始です。

各自スタンプラリーのカードをもらい、4～5名のグループで行動しました。ポイントは、クイズ3箇所、ヨーヨー釣り、ペットボトルボーリング、ストライクアウト、輪投げの7箇所。クリアしたらスタンプを押してもらえます。クイズは仮装をしたり、広い公園で行なわれたので参加者はポイントを探すのに大変でした。

昼食は委員さんが作ってくれたブタ汁を食べ、持ってきたおにぎりをほおばり楽しいひと時を過ごしました。帰りは、雨雲がせまり、途中で雨が降らないかとハラハラしながら、解散場所までおしゃべりをしたり、歌ったりしながら歩いて帰って来ました。



主催；北東白石地区青少年育成委員会
共催；北東白石地区子ども会連絡協議会、北東白石連合町内会

ごみの新ルールその後

平成21年7月1日からごみの新しい分別と有料化が始まり1年が過ぎた。

北都町内会ではごみ排出のマナーとカラス対策に頭を悩ませていたが、この度カラス対策として数週間の試行を経、全てのごみステーションを、カラスが嘴を



更新したネット

入れることが出来ない小さい網目、ごみを引っ張り出すことが出来ない重みのあるゴム紐を周囲に取り付けたネットに更新した。

近隣の住人による奉仕と管理が行き届いた住宅街では、生ごみの日にもカラスの姿は見えず歩道にごみが散乱することはない、どうやらカラスと人間の知恵比べは人間に軍配が上がった。

しかし、メイン通りの商店街や一部の住宅街では、ごみの分別、排出ルール違反が後を絶たず、ペチュニアが美しく咲き乱れるマスタ花壇の傍にルール違反のごみが散乱している。人間（違反者）と人間（町内会）の知恵比べは当分続きそうだ。



散乱するルール違反ごみ

川北小学校30周年記念式典挙行

白雲うかぶ川北は ひろがるみどりのつづく街
いつも楽しい みんなの学校・・・
この校歌をうたいつづけて30年。
札幌市立川北小学校では開校30周年の記念式典を
さる平成22年6月25日（金）午前10時より同校体育館
において執り行われました。

川北小
金管バンドも
祝賀の演奏で会場を盛り
上げました。



式典会場には、全校児童、教職員をはじめ、ご来賓として、関係機関、歴代校長・教頭、関係小・中・幼稚園保育園、地域町内会、本校PTA役員など多くの参会者のなか、厳粛に行われ、後半には、児童集会「ハッピーバースディ集会」が開かれました。記念品として、PTAより、航空写真入りクリアファイルや紅白餅が配られ30周年を祝しました。

写真絵本「森のいのち」

7月5日10時より白石区保健センター2階講堂にて、「森の生きづく命の繋がり」と題して、写真家小寺卓矢氏の講演がありました。

「いのちをテーマに」彼のテーマに対する思いが、そしてその思いが子ども達へと作品を通じて伝わってくる講演でした。夏休みに読みたい一冊。

「森のいのち」写真家小寺卓矢氏の最初の写真集、いや、写真絵本の名前です。

表題のとおり、森のいのちをテーマに、写真とそこに作者が森の中で見て、感じた息遣いが活字となって写真に添えられている。絵本ならぬ写真本なのである。絵と文ならぬ写真と文を彼が一人で手がけている。写真家なのに文・写真と文が先に記されていた。

「もりは しんと しずまりかえっている。でもみみをすませば ほらー いのちの いきづかいがきこえてくる。・・・」こんな言葉で始まる最初の写真は、北海道の大森林の森に朝もやが立ち込めてきて、夜が明けはじめてきた壮大な写真であった。その森の中で多くの生き物が生きており、太陽も水も風も、森にはみな必要なのだ。大きく育った樹木も長い年月のなかでその一生を終える。そう、土に還るのです。でも森は倒木をもまた他の生き物の糧となり、それらのおかげで自身の種が倒木の上のこけに抱かれて、新しい芽をゆっくりと育ててゆく。いくつもの命が森という、大きな命を繋いでゆく。お子様と一緒にこの写真絵本を見ながら読み聞かせしたい一冊です。Web検索・小寺卓矢森の写真館。

社協「ふれあい音楽会」開催

北東白石地区社会福祉協議会では毎年1月と6月の2回にわたって、地域の皆様との「ふれあい音楽会」を開催しております。

この音楽会は、赤い羽根共同募金の支援を受けており、地域の皆さんの善意がここでも役立てられております。

ひまわりの皆さん



1月の音楽会はクラシックのコンサートを行っておりますが、6月は会場の皆さんも参加できる音楽会をめざし今回は「音楽ボランティア団体ひまわり」のバンド演奏。

ボーカルと演奏に魅了しながら、後半は歌詞カードを見ながら、バンド演奏をバックに皆さん声を合わせ歌っておりました。97名の参加で夏の楽しいひと時でした。

福まち「さわやか交流会」開催！

単身高齢者社会がどんどん進行中だそうです。北東白石地区も同じく進行してゆくものと思われま。でも単身だからと言って、家の中に一人で閉じこもってはいけません。福まちが単身者向けに行っている「さわやか交流会」です。7月16日皆さんでキーボード演奏を聴いたり歌ったり、フラダンスの手ほどきに参加したり、食事も楽しかったです。



ちょっといい話

北東白石児童会館事業（講談社共催） 「みたい！ききたい！おはなし隊」

6月26日（土）全国を回っている「講談社おはなし隊」の約550冊の絵本を積んだキャラバンカーが北東白石児童会館にやってきました。

気温がぐんぐん上昇する中、それでもキャラバンカーの周り日影をみつけて、屋外の開放感の中で思い思いに素敵な絵本を楽しんでいました。

後半は絵本や紙芝居のおはなし会。当館読み聞かせボランティアの「ペーパーミント」の方々や職員、そしておはなし隊の吉田隊長さんによる読み聞かせに、瞳を輝かせながら見入っていました。

これを期に、さらなる「読書推進」をはかっています。皆さんどうぞよろしく。



おはなし隊のみなさんと
記念写真を撮りました

介護予防講座の予告案内

介護予想センター川下では、地域団体や関係機関との共催で平成22年度の介護予防講座を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。

1、日時 平成22年9月29日（水）
13:00～15:30

2、場所 北都地区会館 1Fホール

3、内容

(1) 講演会「介護予防と運動・食事について」（仮タイトル）

講師 心・体・食サポート協会
インストラクター宮川さとみ氏

(2) 各種体験コーナー

- ・相談コーナー
- ・健康・体力チェックコーナー
- ・栄養コーナー
- ・介護サービス・福祉用具展示コーナー

4、参加料 無料

楽しく学べる、健康講座。元気な人ほど、一年に一度は健康チェックを致しましょう。

「遊学館」北13条通東川下バス停前（北側）の遊学館（緑香ビル2F202号室）では初心者から中級者までパソコン教室を行っております。ご参加希望者は 873-8686 島田まで

行事予定案内

行 事	開催日	時 間	場 所
川下団地自治会夏祭り	8月1日	13:00～	S団地内公園
早朝街頭啓発	8月2日	8:00～	川下市民生協前
北東白石「七夕の集い」	8月7日	9:30～	川北小学校
北都商店街夏祭り	8月7日	10:00～	北都公園
川北ふるさと祭り	8月7日 8月8日	15:00～ 15:00～	川北なのはな公園
川下町内会夏祭り	8月8日	13:00～	川下会館
東川下団地自治会夏祭り	8月8日	13:00～	N団地内公園
東川下町内会盆踊大会	8月13日 8月14日	18:30～ 18:30～	東川下公園
東川下地区ふるさと祭り	8月29日	11:00～	厚別川緑地
防災体験お泊まり会	9月4日 9月5日	13:30～ 10:00	北都地区会館
防犯教室	9月12日	10:00～	北都地区会館
早朝街頭啓発	9月21日	8:00～	ホクトスポーツ前
ふれあい遠足 & 凧揚げ会	9月26日	9:30～ 10:30～	北都地区会館 川下公園
北東白石地区防災訓練	10月3日	未定	北都公園
小中学校夏休み			
小学校	7月24日（土）～8月17日（火）		
中学校	7月24日（土）～8月22日（日）		

福まち「市民講座」・

「そば打ち体験講座」のお知らせ

北東白石「副まち」では、地域の皆さん向けに、市民講座として、「そば打ち体験講座」を開催いたします。ご自分自身でそば打ちを体験してみませんか。

1、日時 平成22年8月18日（水）
10:00～12:30

2、会場 北都地区会館 1Fホール

3、内容 各自そば打ち体験、かまゆで、試食

4、参加費 一人500円（当日集金）

5、参加定員 30名 先着締切

6、申し込み先

社協事務局 島田 直通873-8686
FAX873-6183

----- 編集後記 -----

近頃の天気は、普通じゃないですね、北海道にも梅雨があるような暑くてじめっとした毎日が続いています。やはり、温暖化の影響でしょうか。子ども達も夏休みに入り外で遊ぶ機会が多くなります。

8月は各町内会で夏祭りや盆踊り、ふるさとまつりなど、多くの催しが行なわれます。ご家庭の皆さんと一緒に行事に参加し、事故のない楽しい夏休みを送ってほしいものです。子ども達が、元気で外遊びが出来るように、私たち大人も注意を払いながら、地域で安全を守るよう心がけ、見守りましょう。

北の郷里編集委員は防犯にも努めています。